

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
内部障害系理学療法学		必修	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
池上 諒 他	D320	ryou.ikegami	水曜日 16:20-17:50		
授業の目的・概要	講義を通して内部障害理学療法に関連する疾患の知識を習得する。疾患の病態生理を理解し、適切な理学療法評価と治療を選択できるようにすることを目的とする。内容は内部障害理学療法学全般の知識について講義を行う。				
学習上の助言	これまでの内科学・解剖学・生理学・運動学の知識も必要となるので復習してから授業に臨むこと。				
教科書	ビジュアルレクチャー内部障害理学療法学第2版 / 編：高橋 哲也 / 医歯薬出版株式会社 / 2017				
参考書	病気がみえる vol.3 糖尿病・代謝・内分泌 第4版：病気がみえる / 編：医療情報科学研究所 / MEDIC MEDIA				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	内部障害理学療法に関連する疾患の知識を理解し、説明することができる		PT(2)、(3)、(4)、(5)、(6)		
②	内部障害理学療法に関連する疾患についての評価を理解し、説明することができる。		PT(2)、(3)、(4)、(5)、(6)		
③	内部障害理学療法に関連する疾患の治療プログラムを適切に選択することができる。		PT(2)、(3)、(4)、(5)、(6)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	事前事後学習内容・必要時間(時間)		
1	内部障害理学療法学の総論について学ぶ。 「担当：高木」	遠隔授業 (印刷教材*1)	内部障害の疾患について内科学の復習を行う。	4	
2	バイタルサインについて学ぶ。 「担当：高木」	遠隔授業 (印刷教材*1)	バイタルサインについて教科書と授業資料で確認する。	4	
3	腎不全・腎臓病の理学療法に必要な疾患知識を学ぶ。 「担当：大塚」	遠隔授業 (印刷教材*1)	腎不全・腎臓病の理学療法について教科書と授業資料で確認する。	8	
4	腎不全・腎臓病の理学療法について学ぶ。 「担当：大塚」	遠隔授業 (印刷教材*1)			
5	代謝性疾患（糖尿病・肥満）の理学療法に必要な疾患知識を学ぶ。「担当：池上」	遠隔授業 (印刷教材*1)	代謝性疾患の理学療法について教科書と授業資料で確認する。	20	
6	代謝性疾患（糖尿病・肥満）の運動療法の総論を学ぶ。 「担当：池上」	遠隔授業 (印刷教材*1)			
7	運動療法におけるカロリー計算方法について学ぶ。 「担当：池上」	遠隔授業 (同時双方向型*2)			
8	代謝性疾患（糖尿病・肥満）のリスク管理について学ぶ。 「担当：池上」	遠隔授業 (同時双方向型*2)			
9	代謝性疾患（合併症）の理学療法について学ぶ。 「担当：池上」	遠隔授業 (同時双方向型*2)	生活習慣病について教科書と授業資料を確認する。	8	
10	生活習慣病の理学療法に必要な疾患知識を学ぶ。 「担当：池上」	遠隔授業 (同時双方向型*2)			
11	生活習慣病の理学療法について学ぶ。 「担当：池上」	遠隔授業 (同時双方向型*2)	褥瘡・低栄養について教科書と授業資料を確認する。	4	
12	褥瘡・低栄養の理学療法について学ぶ。 「担当：大塚」	遠隔授業 (同時双方向型*2)			
13	がんの理学療法に必要な疾患知識を学ぶ。 「担当：池上」	遠隔授業 (同時双方向型*2)	がんの理学療法処方について教科書と授業資料を確認する。	8	
14	がんの理学療法について学ぶ。 「担当：池上」	遠隔授業 (同時双方向型*2)			
15	総復習 「担当：池上」	遠隔授業 (同時双方向型*2)	提示課題及びこれまでの授業資料を確認する。	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【2020 年度/専門科目領域/専門科目群/理学療法学科/旧カリキュラム】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		100	0	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	70	0	0	0	0	70
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して評価する（筆記試験、100%）。試験では授業で使用したプリント、教科書の内容を基にした問題を出題し、理解度の確認を行う。				必要に応じて解答を提示し、解説を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<p>*1 第1～6回目の印刷教材を用いた授業は、授業時間内に作成できる範囲で終了可能な課題を印刷教材内に提示します。課題のフィードバック及び質疑応答は教員からのメール返信、または One Drive, Google Form などの Web 上で行います。</p> <p>*2 7回目以降の同時双方向型の授業は teams を使用し実施するため、自宅のネット環境に注意して下さい。授業内で課題を提示する講義もあります。</p> <p>今後、コロナウイルスの状況により授業方法及び期末試験方法が変更になる可能性があります。</p> <p>担当教員：◎池上 諒、高木 大輔、大塚 篤也</p> <p>教員の実務経験：大学病院にて代謝疾患（糖尿病等）及びがんのリハビリテーションを中心に 5 年間理学療法業務に従事。</p> <p>実践的授業の内容：web 講義により代謝疾患を対象とした理学療法の基礎的知識の説明を行う。</p>							